

展覧会データ

2007-2009年度

特別展／コレクション展

アトリエ・ワン：
いきいきプロジェクトin金沢

2007.4.1-2007.9.17
会場：長期インスタレーションルーム、プロジェクト工房
(※プロジェクト工房は、2007年4月1日-2007年7月27日)

観覧料：無料

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕
協力：金沢工業大学環境・建築学部建築系、
筑波大学貝島研究室、東京工業大学塚本研究室

出品作家：アトリエ・ワン

関連企画：

- ◎「さくらマップ」制作ワークショップ
(4月1日、長期インスタレーションルーム)
- ◎フォーラム：塚本由晴、貝島桃代「さくら編」
(4月14日、プロジェクト工房)
- ◎フォーラム：塚本由晴、貝島桃代「建物編」
(5月5日、プロジェクト工房)
- ◎フォーラム：亀井聡「島村昇『金沢の町家』を読む」
(5月26日、プロジェクト工房)
- ◎フォーラム：金沢市草笛愛好会(新木尚)
(5月26日、プロジェクト工房)
- ◎フォーラム：コラボン(矩一浩)、
かなざわスポーツ総合クラブ(福原早葉子)
(6月2日、プロジェクト工房)
- ◎ギャラリートーク：塚本由晴、貝島桃代
「金沢 町家 新陳代謝」
(8月12日、長期インスタレーションルーム)
- ◎ギャラリートーク：塚本由晴、貝島桃代
「いきいきプロポーザル」
(9月1日、長期インスタレーションルーム)

ボランティア：

活動期間：4月1日-9月17日
登録者数：29人
活動内容：調査、ガイドマップ編集、模型制作、映像編集

ガイドマップ(調査報告書)：

『アトリエ・ワンと歩く 金沢、町家、新陳代謝』
金沢21世紀美術館、2007年
11×24cm 700円+税
ISBN 4-903205-13-7

キュレーション：鷺田めろ

我が文明：
グレイソン・ペリー

2007.4.28-2007.8.31
会場：展示室1-6、13

観覧料：一般=1,000円／大学生=800円／
小中高生=400円／65歳以上=800円
入場者数：76,296人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕
共催：読売新聞東京本社、美術館連絡協議会

助成：ブリティッシュ・カウンシル、
グレートブリテン・ササカワ財団
協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、
サッポロビール株式会社
協力：日本航空

出品作家：グレイソン・ペリー

関連企画：

- ◎アーティスト・トーク(4月28日、レクチャーホール)
- ◎講演会：石井達朗「トランスジェンダーと身体文化」
(6月23日、レクチャーホール)
- ◎映画「非現実の王国で：ヘンリー・ダーガーの謎」
(2004年)上映会(5月20日、6月24日、レクチャーホール)
- ◎「グレイソン・ペリー」(2007年)上映会
(7月22日、8月26日、レクチャーホール)
- ◎こども向けギャラリー・ツアー「グレイソンを探せ!」
(6月3日、キッズスタジオ、展示室)
- ◎こども向けワークショップ「グレイソンに挑戦!」
(8月10日、キッズスタジオ、展示室)
- ◎学芸員によるギャラリー・トーク
(5月6日、5月19日、6月2日、7月7日、8月25日)

カタログ：『我が文明：グレイソン・ペリー』

金沢21世紀美術館 2007年
26×21cm、112p、2,500円
ISBN 978-4-903205-11-3

巡回先：MUDAMルクセンブルク-ジャン大公近代美術館
(2008年6月19日-9月22日)

キュレーション：吉岡恵美子
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀
教育普及：吉備久美子、平林恵、木村健
アーカイヴ：石黒礼子
広報：江藤祐子

パッション・コンプレックス：
オルブライト=ノックス美術館コレクションより

2007.8.1-2007.11.11
会場：展示室7-12、14

観覧料：一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数：84,132人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕、金沢市、
オルブライト=ノックス美術館、パッファロー市
後援：在名古屋米国領事館名古屋アメリカン・センター、
北國新聞社
協賛：日本航空、ヤマトロジスティクス株式会社
協力：アサヒビール株式会社、やちや酒造株式会社
特別協力：パッファロー・金沢姉妹都市委員会

出品作家：
コリー・アーケンジェル、シュテファン・バルケンホール、
デイヴィッド・バチェラー、ルイズ・ブルジョワ、
ソフィ・カル、ジョン・コプランズ、ピーター・コイン、
ダン・フレイヴィン、デイヴィッド・ハモンズ、モナ・ハトム、
ジム・ランビー、キャサリン・オビー、ローリー・シモンズ、
ジェフ・ウォール、ジリアン・ウェアリング

関連企画：
◎子ども向けギャラリー・ツアー「気になる人を探そう」
(9月23日、キッズスタジオ、展覧会場)
◎家族向けワークショップ「家族の肖像を撮ろう」
(10月14日、キッズスタジオ、展覧会場)
◎学芸員によるギャラリー・トーク
(8月11日、9月16日、10月20日、11月3日)

カタログ：『パッション・コンプレックス：
オルブライト=ノックス美術館コレクションより』
金沢21世紀美術館 2007年
32×24 cm、64ページ 2,000円
ISBN 978-4-903205-12-0

キュレーション：北出智恵子
展覧会スタッフ：
ダグラス・ドレイシュフーン、ローラ・フレイシュマン、
ジョディ・ハンソン、アナ・カプラン、マーク・マクロフリン、
ナンシー・ウォルブレクト、橋爪真紀
展示設営：児玉賢三
アーカイヴ：
トム・ヒューズ、スザンナ・タハダ、石黒礼子、鍛冶裕子
教育普及：吉備久美子、木村健

荒野のグラフィズム：
粟津潔

2007.11.23-2008.3.20
会場：展示室6-12、14
(※展示室6はコレクション展IIの会場内)

観覧料：一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数：51,117人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕
共催：社団法人日本グラフィックデザイナー協会
後援：財団法人日本産業デザイン振興会、
財団法人石川県芸術文化協会
特別協賛：日本写真印刷株式会社、株式会社NCP
協賛：コダック・グラフィック・コミュニケーションズ株式会社、
株式会社田中運送
協力：印刷博物館、金沢学院大学、金沢美術工芸大学、
国際芸術センター青森、シルクの会、財団法人草月会、
株式会社アダチ版画研究所、
株式会社スクリーンプロセクニエダ、株式会社竹尾

出品作家：粟津潔

関連企画：
◎講演会：福田繁雄「奇才・粟津潔を語る」+
〈討論〉福田繁雄×永井一正×勝井三雄(11月23日)
◎「シルクスクリーン版画ワークショップ」
(11月23日、11月24日、12月1日、2日、8日、9日、22日、24日、
1月13日、20日、2月10日、展示室11)
◎レクチャー：針生一郎「トータル・デザインへの道」
(11月24日、展示室7)
◎レクチャー：浜田剛爾「粟津潔のパフォーマンス」(11月25日)
◎レクチャー：西江雅之「粟津潔とわたし」(12月1日)
◎「絵本を読もう」(12月1日、15日、1月5日、20日、2月2日、
16日、3月1日、15日)
◎上映会+レクチャー：松本俊夫
「つぶれかかった右眼のために」(松本監督作品)×
「風流」(粟津監督作品)(12月2日)
◎レクチャー：中原佑介「なんでもデザイン」(12月8日)
◎実演&レクチャー：中山周+久保田憲一(アダチ版画)
「現代に生きる伝統木版」(12月15日、16日)
◎レクチャー：北川フラム(12月16日、レクチャーホール)
◎レクチャー：神谷佳男
「版表現を見る、学ぶ〜四版種の技法を中心に〜」(12月22日)
◎パフォーマンス：浜田剛爾「Score of Performance」
(12月23日、展示室11)
◎作曲ワークショップ：樺山智子「次元を跨ぐ旅」
〜地図から生まれる音楽〜(1月3〜5日)
◎発表会：作曲ワークショップ参加者による作曲作品
「21世紀の子守唄」(1月6日)
◎ピアノ・デュオ・コンサート：一柳慧+寒川晶子「原点から
民族的感性へー 荒野のグラフィズム：粟津潔展への音楽
ー」(1月11、12日)

◎作品上映&レクチャー：篠田正浩「鬼才・篠田正浩が、奇
才・粟津潔を語る! 滅亡する文化の終末をめぐるー 『心
中天網島』と『はなれ替女おりん』」(作品上映『心中天網島』
『はなれ替女おりん』、篠田正浩レクチャー「私の現代：滅亡
する文化の終末をめぐる」)(1月13日)
◎トーク&ライブ「輝け60年代」
Part 1 〈対談〉奈良義巳×粟津ケン「粟津潔の時代装置」
Part 2 音楽と映像の時間~Ayu Live (1月14日)
◎コンサート：小杉武久「マノ・ダルマ・コンサート」
(1月19日、展示室11)
◎ライブ：Ayu「火の鳥~粟津潔と寺山修司へのオマージュ」
(1月20日)
◎箏コンサート：沢井一恵「^{ひび}焰のコンサート」(2月2日)
◎コンサート：林光+恵田大「風のコンサート」
(2月3日、展示室11)
◎レクチャー：日比野克彦「「ホーム→アンド→アウェー」方式
で語る粟津潔“荒野のグラフィズム”」(2月9日)
◎実演&レクチャー：神谷佳男+寺井剛敏「粟津潔の知られ
ざる銅版画“原画発見!”」(2月9日)
◎対談：九条今日子×榎本了亮「前衛・実験・アングラ」
(2月10日)
◎ワークショップ/ライブ：Ayu「14色の夢の場面」(2月11日)
◎レクチャー：祖父江慎「デザインやカ~素直パワーでゴー!」
(2月16日)
◎山下洋輔ライブ「ピアノ再炎上」(2月17日)
◎パフォーマンス：山下洋輔「ピアノ炎上2008」
(3月8日、能登リゾートエリア増穂浦、石川県羽咋郡相神)

ボランティア：
◎ワークショップ・ルーム、プロジェクト・スタッフ
活動期間：2007年11月23日-2008年2月17日
登録参加者数：32名
ボランティアコーディネーター：2名
活動内容：シルクスクリーン体験準備、補助等、
ワークショップ・ルームの運営

カタログ：『荒野のグラフィズム：粟津潔』
フィルムアート社、2007年
25.8×19cm、(264)p. 3,000円+税
ISBN 978-4-8459-0714-4

チーフ・キュレーター：不動美里
キュレーター：驚田めるる、北出智恵子
インスタレーション・コーディネーター：児玉賢三
制作スタッフ：橋爪真紀、西畑春佳、滝沢未羽、矢島里沙
教育普及：平林恵、木村健、吉備久美子
アーカイヴ：石黒礼子、鍛冶裕子
広報：江藤祐子
ヴィジュアル・デザイン：奥田亮(NCP)、宮谷一欒(NCP)
[ワークショップ・ルーム・プロジェクト]
監修：粟津ケン(粟津デザイン室)
指導：浜田剛爾、神谷佳男、寺井剛敏
コーディネーター：寺尾ユリ子、児島啓多

美の求道者・安宅英一の眼：
安宅コレクション

2008.2.9-2008.3.20
会場：展示室11

観覧料：一般=1,000円／大学生=800円／
小中高生=400円／65歳以上=800円
入場者数：21,106人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕、
大阪市立東洋陶磁美術館、読売新聞東京本社
企画協力：金沢市立中村記念美術館
〔(財)金沢文化振興財団〕
後援：テレビ金沢
協賛：損保ジャパン
協力：金沢ふるさと偉人館〔(財)金沢文化振興財団〕、
金沢能楽美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕、
麒麟ビール株式会社、麒麟ビバレッジ株式会社

関連企画：

- ◎記念講演会：伊藤郁太郎（大阪市立東洋陶磁美術館館長）
「安宅コレクションの特質について」
（3月1日、レクチャーホール）
- ◎記念講座：片山まび（大阪市立東洋陶磁美術館学芸員）
「韓国のやきもの」（3月2日、レクチャーホール）
- ◎記念講座：小林仁（大阪市立東洋陶磁美術館学芸員）
「中国のやきもの」（3月15日、レクチャーホール）
- ◎茶会（3月8日、松涛庵、主管：
（社）茶道裏千家淡交会石川支部）
- ◎ギャラリー・トーク：
藪下宏（金沢市立中村記念美術館学芸員）（3月8日）

カタログ：『美の求道者・安宅英一の眼：安宅コレクション』
読売新聞大阪本社 2007年
26.5×19.5cm、272ページ 2,500円

巡回先：

大阪市立東洋陶磁美術館（2007年4月7日-9月30日）
三井記念美術館（2007年10月13日-12月16日）
福岡市美術館（2008年1月5日-2月17日）

展覧会スタッフ：以倉新
展示設営：児玉賢三

コレクション展 I

2007.4.28-2007.7.16
会場：展示室7-12、14

観覧料：一般=350円／大学生=280円／
高校生以下無料／65歳以上=280円
入場者数：53,398人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕

出品作家：

アネット・メッサージェ、ゲルハルト・リヒター、
リュック・タイマンズ、徳田八十吉、ピーター・ニューマン、
ジョセフ・コスース、山崎つる子

関連企画：

- ◎学芸員によるギャラリー・トーク
（5月12日、6月9日、7月14日）

キュレーション：村田大輔
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀

コレクション展 II

2007.9.15-2008.4.13
会場：展示室7-12、14

観覧料：一般=350円／大学生=280円／
高校生以下無料／65歳以上=280円
入場者数：99,858人

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕

出品作家：

アネット・メッサージェ、森村泰昌、木村太陽、
鯉江真紀子、舟越桂、角永和夫、粟津潔

関連企画：

- ◎森村泰昌のスペシャル・トーク&
作品特別プレゼンテーション
「ファッションを着る、斬る?+夜のバルコネグロ」
（10月20日、レクチャーホール、展示室2）

キュレーション：村田大輔
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀

ロン・ミュエック

2008.4.28-2008.8.31
会場: 展示室1-6

観覧料: 一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数: 173,207人

主催: 金沢21世紀美術館 [(財) 金沢芸術創造財団]
協賛: 日本航空
企画協力: ナンジョウ アンド アソシエイツ

出品作家:
ロン・ミュエック

関連企画:
◎記念講演会: 青木正弘「リアリティの意味するもの」
(7月20日、レクチャーホール)
◎アーティスト紹介映像「ロン・ミュエック」
(2002年、ナショナルギャラリー、英国制作)、(「ロン・ミュエック」2006年、マラガ現代美術センター、スペイン制作) (5月4日、6月28日、7月26日、8月24日、レクチャーホール)
◎子ども向けギャラリー・ツアー「気になる人は、どんな人?」
(6月22日)
◎子ども向けワークショップ「ミュエックに挑戦!」
(8月22日、キッズスタジオ、展覧会場)
◎絵本を読もう
(6月21日、8月23日、キッズスタジオ、展覧会場)
◎ママパパ向けギャラリー・ツアー
(5月17日、金沢21世紀美術館キッズスタジオ、展覧会場)
◎学芸員によるギャラリートーク
(4月27日、5月3日、6月7日、7月5日、8月9日)

カタログ: 『ロン・ミュエック』
フォイル 2008年
29.7×21.0 cm、88p. 1800円
ISBN 978-4-902943-31-3

キュレーション: 村田大輔
展示設営: 児玉賢三
アーカイヴ: 石黒礼子、鍛冶裕子
展覧会スタッフ: 橋爪真紀
教育普及: 平林恵、木村健、吉備久美子

サイトウ・マコト:
SCENE [0]

2008.8.2-2008.11.3
会場: 展示室7-12、14

観覧料: 一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数: 77,816人

主催: 金沢21世紀美術館 [(財) 金沢芸術創造財団]
出品作家: サイトウ・マコト

関連企画:
◎対談: 吉岡徳仁、サイトウ・マコト「ショットをつかまえる。」
(8月2日、展覧会場)
◎対談: 浅田彰、サイトウ・マコト
「突き放す! : グラフィック・デザインの廃墟からの絵画の誕生」
(8月3日、展覧会場)
◎対談: 浅野忠信、サイトウ・マコト「顔力!」
(9月13日、レクチャーホール)
◎子ども向けプログラム「気になる人を探そう!」(9月23日
キッズスタジオ、展覧会場)
◎学芸員によるギャラリートーク
(8月16日、9月6日、10月25日)
◎ママパパ向けギャラリー・ツアー (9月11日)

カタログ: 『MAKOTO SAITO: SCENE [0]』
ADP、2008年
32.5×26.0 cm、124p.、「日本語ブックレット」付属 2,800円
ISBN 978-4-903348-11-7

ドキュメント:
『MAKOTO SAITO: SCENE [0] Exhibition
Installation Document』
ADP、2008年
27.5×22.0 cm、14p.
ISBN 978-4-903348-11-7 C0072

キュレーション: 岡村知子、北出智恵子
展示設営: 児玉賢三
展覧会スタッフ: 橋爪真紀
教育普及: 吉備久美子、木村健
アーカイヴ: 石黒礼子、鍛冶裕子
広報: 落合博晃、黒田裕子、岡田彩

金沢アートプラットフォーム2008:
自分たちの生きる場所を自分たちでつくるために

2008.10.4~2008.12.7

会場：金沢市内中心市街地等19カ所

観覧料：一般=1,000円/大学生=800円/

小中高生=400円/65歳以上=800円

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕

後援：金沢市、金沢市教育委員会、

財団法人石川県芸術文化協会、タイ王国大使館

助成：オランダ王国総領事館、社団法人林原共済会

協賛：Art-U room、金沢フォーラス、資生堂、

堅町商店街振興組合、YUPO CORPORATION

協力：株式会社池光エンタープライズ、石川県、石川県私立幼稚園協会、石川県立盲学校、鱒町川地蔵保存会、FC.TON、EPSON、近江町市場商店街振興組合、大口水産株式会社、尾山神社、有限会社オリオス、尾張町商店街振興組合、CAAK、Center for Art & Architecture、Kanazawa、懐華樓、学生ノートック、主計町町会、片町商店街振興組合、金沢観光ボランティアガイドの会「まいどさん」、金沢桐工芸岩本清商店、金沢工業大学環境・建築学部建築系、金沢市観光協会、金沢市商店街連盟、金沢市民芸術村、金沢市民芸術村アート工房アートアンツ、NPO 法人かなざわ総合スポーツクラブ、金沢大学写真部、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校同窓会柏葉会、附属小学校同窓会嚶鳴会、金沢東山・ひがしの町並みと文化を守る会、金沢美術工芸大学、金沢美術工芸大学ワークショップ部ちきゅう、NPO法人金澤町家研究会、金沢湯涌創作の森、かほく紙飛行機の会、キンビール株式会社 石川支社、キリンビバレッジ株式会社 北陸支社、グリルオーツカ、グループホーム ケアネット千壽、KDDI株式会社コンシューマ北陸支社、賢坂社サポーターズ倶楽部、兼六大通り振興会、廣誓寺、香林坊商店街振興組合、子育て生活応援団、小立野地区社会福祉協議会、collabon、西福寺、材木ラスカルズ、仁愛女子短期大学、新堅町校下社会福祉協議会、有限会社親和加工、ソフトバンクモバイル株式会社、辰村道路株式会社、株式会社田中直染料店、たねの会、玉川町通り商店街振興組合、椿原天満宮、照葉、道入寺、となみ野バルーンクラブ、虎ノ門住宅販売株式会社、長町上二番丁町会、西川善株式会社、ニチレキ株式会社金沢営業所、有限会社能作漆店、パナソニック電工株式会社、広坂振興会、富士フィルムイメージング株式会社、劇団棒読み座、北陸学院高等学校生徒会、株式会社北國銀行、MILESTONE ART WORKS、医療法人財団松原愛育会、妙慶寺、武蔵野制御振研究所、株式会社山岸化粧品、株式会社山越、ヨシダ印刷株式会社、ラッキー、株式会社リコー、ワールド・エオリアンハーブ・プロジェクト

出品作家：

青木千絵、アトリエ・ワン、牛嶋均、小沢剛、

カミン・ラーチャイプラサート、KOSUGE 1-16、塩田千春、

高橋匡太、高橋治希、トーチカ、友政麻理子、中村政人、

八谷和彦、藤枝守、フランク・ブラジガンド、松村泰三、

丸山純子、宮田人司、八幡亜樹

関連企画：

◎アトリエ・ワン関連イベント「町家体験宿泊」

(10月18日、10月25日、11月22日、11月29日、横山町の町家)

◎牛嶋均関連イベント 第1回「基地づくりのワークショップ」

(10月5日、金沢市民芸術村広場)

◎牛嶋均関連イベント 第2回「基地づくりのワークショップ」

(11月9日、玉川こども図書館)

◎小沢剛関連イベント「まいどさんと行く金沢七不思議」

ツアー (10月25日、10月26日、11月22日)

◎カミン・ラーチャイプラサート関連イベント

「31世紀こころの美術館 人文字記念航空写真撮影」

(9月20日、金沢21世紀美術館広場)

◎カミン・ラーチャイプラサート関連イベント

「31世紀こころの美術館 みんなのパーティー」

(10月4日、NTT香林坊ビル4F)

◎KOSUGE 1-16関連イベント

「どこどこ!巨大紙相撲 カスづくりワークショップ」

(10月11日、10月12日、10月31日、11月1日、11月7日、11月8日、11月9日、馬場公民館、中央公民館長町館、杜の里小

学校、材木公民館、金沢21世紀美術館キッズスタジオ、新堅

町公民館)

◎KOSUGE 1-16関連イベント「どこどこ!巨大紙相撲~金沢

場所 千秋楽~」(11月16日、金沢市営中央市民体育館)

◎KOSUGE 1-16関連ワークショップ「スター選手を作ろう!」

(9月6日、キッズスタジオ)

◎KOSUGE 1-16関連ワークショップ

「スタジオムを作ってゲームをしよう!」

(9月13日、長期インスタレーションルーム)

◎KOSUGE 1-16関連イベント「第1回AC-21カップ」(12月6

日、長期インスタレーションルーム)

◎高橋匡太関連ワークショップ

「夢のたねプロジェクトin金沢 2008」

(浅川町公民館、浅野町小学校、芦原小学校、石川県女性センター、石川県立工業高校、大桑保育所、金石保育所、金沢泉丘高校、金沢市民芸術村、金沢大学附属病院小児科院内学級、金沢21世紀美術館、金沢フォーラス、菊川町小学校、教育プラザ富樫わいわいバザール、京都工芸繊維大学、京都嵯峨美術大学、京都精華大学、京都造形大学、材木町小学校、十一屋小学校、城北児童館、仁愛女子短期大学、しらうめ園、新堅町小学校、清泉幼稚園、聖ヨゼフ幼稚園、精霊保育所、高岡中学校、辰巳丘高校、玉川こども図書館、玉川商店街一直線まつり、中央小学校、中村町保育所、二水高校、日本宇宙少年団金沢支部、野町小学校、はぎの郷、八田保育所、花園保育所、光が丘保育所、ひばり保育園、双葉保育所、観光ボランティアガイド「まいどさん」定例会、松任グリーンパーク、松任小学校、味噌蔵町小学校、みやこのもり子ども園(材木保育園・桜華幼稚園)、三馬小学校、杜の里小学校、森山保育所、諸江町小学校、矢木保育所、弥生小学校、夢のたねステーション(香林坊ビル3F)、夢のたね広場(香林坊ビル1Fライブステーション内)、八日市保育所、米丸小学校、他)

◎高橋匡太関連イベント「夢のたねプロジェクト2008 金沢」

(12月7日、金沢城公園新丸広場)

◎トーチカ関連ワークショップ

「PIKA PIKA PROJECT in KANAZAWA」

(8月12日、8月13日、8月14日、金沢市民芸術村ミュージック

工房PIT4、金沢21世紀美術館レクチャーホール、広場、金沢

市民芸術村マルチ工房PIT1)

◎トーチカ+牛嶋均関連イベント「クロージングパーティー」

(12月6日、プロジェクト工房)

◎中村政人関連イベント「Zアンデパンダン展」

(10月4日~12日、市民ギャラリー B)

◎中村政人関連イベント「Zアンデパンダン展ディスカッション」

(10月5日、市民ギャラリー B)

◎中村政人関連イベント 展覧会「第3の途」

(10月4日~13日、山越ビル2階)

◎中村政人関連イベント「第3の途って何?」

(10月12日、山越ビル)

講師=高橋明彦 聞き手=石崎誠和

◎中村政人関連イベント 街中企画展示「Z space」

(10月4日~18日、兼六大通り周辺)

◎中村政人関連イベント「Z space トークツアー」

(10月4日、兼六大通り周辺)

◎中村政人関連イベント

「Z project/オープニングライブ&パーティー」

(10月5日、山越ビル)

◎中村政人関連イベント「Z レンタルアートシステム」

(10月15日~12月7日、山越ビル2F)

◎中村政人関連イベント
「kapo+ (カポプラス) オープニングトークカフェ」
(11月1日、山越ビル1F)
講師=中村政人、平田哲朗(ヒミング)

◎中村政人関連イベント「交流企画kapo+」
(11月1日-12月7日、山越ビル2F)

◎中村政人関連レクチャー&ワークショップ
「私のメタユニットM1」(11月30日、山越ビル1F)
講師=新堀学、佐藤慎也

◎中村政人関連イベント
kapoオリジナルスイーツお披露目パーティ
「Sweets Waiwai Time」(12月7日、山越ビル1F)

◎八谷和彦関連イベント「テストフライト」
(10月4日、金沢市民芸術村広場)

◎八谷和彦関連イベント
対談 八谷和彦×四戸哲「メーヴェを飛ばす方法について」
(10月4日、金沢市民芸術村アート工房PIT5)

◎八谷和彦関連イベント
対談 八谷和彦×高橋匡太「空はいいなあ」
(10月5日、金沢市民芸術村アート工房PIT5)

◎八谷和彦関連ワークショップ「紙飛行機を作ろう」
(11月8日、金沢市民芸術村アート工房PIT5)
講師=金津五雄、梅野三郎

◎八谷和彦関連ワークショップ「ペーパープレーンを作ろう」
(11月9日、金沢市民芸術村アート工房PIT5)
講師=八谷和彦、四戸哲

◎藤枝守関連ワークショップ「記念樹から声が聞こえてくる」
(8月9日、金沢21世紀美術館広場)

◎松村泰三関連ワークショップ「光の箱をつくろう!」
(11月15日、玉川こども図書館)

◎丸山純子関連ワークショップ
「レジ袋を使った花づくり」
(7月12日、7月16日、7月23日、7月24日、7月25日、7月26日、
7月27日、7月28日、7月29日、7月30日、8月5日、8月12日、
8月23日、8月30日、10月3日、10月18日、グループホームケ
アネット千壽、金沢21世紀美術館会議室1、キッズスタジオ、
松原病院、お年寄り地域福祉支援センターとびうめ、新堅町
公民館、小立野公民館、旧山岸化粧品店)

◎金沢アートプラットホーム2008 知りたい会：
丸山純子(7月16日、会議室1)、友政麻理子(7月21日、会議
室1)、藤枝守(7月29日、レクチャーホール)、友政麻理子(8
月7日、会議室1)、青木千絵、高橋治希(8月19日、会議室1)、
塩田千春、黒澤浩美(8月23日、金沢美術工芸大学～椿原天
満宮)、塩田千春、黒澤浩美(8月27日、会議室1)、高橋匡太、
黒澤浩美(会議室1)、KOSUGE1-16(会議室1)

◎観光ボランティアガイド「まいどさん」と行く
金沢アートプラットホーム2008
(10月4日、10月19日、11月2日、11月23日、12月7日)

◎インフォメーション・キューブ関連企画
「バスで巡るアートツアー」(10月18日、11月22日)

◎インフォメーション・キューブ関連トークイベント
「金沢のギャラリストがみる(まち・ひと・アート)」
(11月2日、デザインギャラリー)
ゲスト=矩一浩、金田雅、中西研太郎
モデレーター=高橋律子

◎インフォメーション・キューブ関連企画
「まちやを巡るアートツアー」(11月15日)
ゲスト=武藤清秀

◎ライブステーション(11月1日～12月7日、香林坊ビル1F)

◎オープニングイベント at the 金沢フォーラス
(10月4日、10月5日、金沢フォーラス5階KUUGOスクウェア)：
藤枝守、丸山純子、高橋治希、高橋匡太、
秋元雄史、森下さち、平見夕紀他

ボランティア：
◎プロジェクトスタッフ
活動期間=2008年5月-12月
登録者数=のべ224人
活動内容=各プロジェクトの企画、運営

ドキュメント：『金沢アートプラットホーム2008 記録集』
金沢21世紀美術館、2009年
21×15cm、48ページ
ISBN 978-4-903205-21-2

パンフレット：『金沢七不思議のあるきかた』
金沢21世紀美術館、2008年
10.5×12.9cm、(15)ページ 500円
ISBN 978-4-903205-17-5

プロジェクト・カタログ：
『31世紀こころの美術館 カミン・ラーチャイプラサート』
金沢21世紀美術館、2008年
10.5×12.9cm、(224)ページ
ISBN 978-4-903205-18-2

アーティスト・ブック：
アトリエ・ワン『金沢町家活用マニュアル』
金沢21世紀美術館、2008年
21.0×14.9cm、(18)ページ

「金沢アートプラットホーム2008」プロジェクトチーム
ディレクター：秋元雄史
キュレーター：秋元雄史、鷺田めろ、黒澤浩美、高橋律子
マネージメント：廣田健、近藤恭代、小林敏明、
青山雅幸、高橋律子
広報：落合博晃、黒田裕子、岡田彩
プロジェクトスタッフ：立松由美子、村井啓哲、岩本歩弓、
坂口千秋、沢井美里、塚本浩子、葛谷允宏、齋藤雅宏、
門田枝美子、佐藤恵美、佐藤志乃、石村雪枝、村上侑

杉本博司： 歴史の歴史

2008.11.22-2009.3.22
会場：展示室5、7-14

観覧料：一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数：16,318人

主催：金沢21世紀美術館 [(財)金沢芸術創造財団]
協力：エルメス、ギャラリー小柳

出品作家：杉本博司

関連企画：

◎アーティスト・トーク(11月22日、レクチャーホール)

◎レクチャー：建畠哲(国立国際美術館館長)
(12月21日、レクチャーホール)

◎レクチャー：秋元雄史(金沢21世紀美術館館長)
(1月11日、レクチャーホール)

◎レクチャー&ディスカッション：
竹内万里子(写真批評家・東京国立近代美術館客員研究員)
「杉本博司の写真行為」、
亀田和子(プリティッシュ・コロムビア大学博士課程)
「杉本博司の日本美術史」、
パネル・ディスカッション
「歴史の歴史というかたち」
パネラー：竹内万里子、亀田和子、
モデレーター：村田大輔(金沢21世紀美術館学芸員)
(3月20日、レクチャーホール)

◎学芸員によるギャラリートーク(11月30日、12月12日、12
月20日、1月17日、2月6日、2月21日、3月15日)

カタログ：『歴史の歴史 杉本博司』
新素材研究所 2008年
29.0×22.8cm、336p. 8,500円

巡回先：国立国際美術館
(2009年4月14日-2009年6月7日)

キュレーション：村田大輔、岡村知子
展示設営：児玉賢三
アーカイヴ：石黒礼子
展覧会スタッフ：橋爪真紀
教育普及：吉備久美子、木村健
広報：落合博晃、黒田裕子、岡田彩

コレクション展Ⅰ
「つながり」

2008.5.27-2008.7.21
会場：展示室7-12、14

観覧料：一般=350円/大学生=280円/
高校生以下無料/65歳以上=280円
入場者数：19,180人

主催：金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]
協賛：全農いしかわ

出品作家：
ジャン・ダグデレン、ヨハン・グリモンブレ、
日比野克彦、川崎和男、村上隆、エルネスト・ネト、
カールステン・ニコライ、ガブリエル・オロスコ

関連企画：
◎子ども向けギャラリー・ツアー
「からだの中に入ろう こころの中に入ろう」
(7月5日、7月19日、キッズスタジオ、展示室11)
◎学芸員によるギャラリー・トーク(6月14日、7月12日)

キュレーション：北出智恵子
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀

コレクション展Ⅱ
「shell - shelter: 殻—からだ」

2008.9.13-2009.4.12
会場：展示室1-6、長期インスタレーションルーム
※ただし、2008年11月5日-2009年3月22日は
展示室1-4、6、長期インスタレーションルーム

観覧料：一般=350円/大学生=280円/
高校生以下無料/65歳以上=280円
入場者数：101,257人

主催：金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]

出品作家：
ヤン・ファーブル、アンジェロ・フィロメーノ、
ドミク・ゴンザレス=フェルステル、デミアン・ハースト、
北川宏人、KOSUGE1-16、ベアトリス・ミリャーゼス、
奈良美智、奈良美智+graf、マグナス・ヴァリン

関連企画：
◎奈良美智「Pup Patrol」～奈良美智デザインの着ぐるみを
着て、美術館をたんけんしよう(2009年1月10日、24日、31日、
2月7日、14日、21日、28日、3月7日、14日、21日、28日、4月
4日、12日、展示室6、交流ゾーン、貸出対象：4歳～小学6年
生(要保護者同伴))
◎「Pup Patrol」ワークショップ～奈良美智ワールドで絵本を
読もう～(2008年11月24日、2009年1月4日、3月20日、4月
4日、展示室6)
◎絵本を読もう
(10月25日、12月20日、2009年2月14日、展覧会場)
◎学芸員によるギャラリー・トーク(2008年10月26日、11月8
日、12月13日、2009年1月10日、2月7日、3月14日)
◎KOSUGE1-16《AC-21》テーブルトーク&交流戦
「タッグパートナーとしてのスポーツとアート」
(2009年1月18日、会議室1)
報告者=辰巳義和(FC.TONクラブマネージャー)、土谷享
(KOSUGE1-16代表)、中塚義実(DUOリーグチェアマン/
サロン2002理事長)
協力=サロン2002

キュレーション：北出智恵子
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀

愛についての100の物語

2009.4.29-2009.8.30
会場：展示室1-12、14 / 長期インスタレーションルーム/
デザインギャラリー/アートライブラリー/授乳室前/
通路及び館内随所

観覧料：
[Zone 1+2]
一般=1,700円/大学生=1,400円/
小中高生=700円/65歳以上=1,400円
[Zone 1もしくは2]
一般=1,000円/大学生=800円/
小中高生=400円/65歳以上=800円
入場者数：205,791 (Zone 1: 1121,231, Zone 2: 84,560)

主催：金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]
共催：北國新聞社
後援：ドイツ文化センター
特別協力：株式会社オトムラ、加能塩業株式会社、
カラーキネティクス・ジャパン株式会社、株式会社サンゲツ

出品作家：
Zone1
粟津潔、ピー・バンジー、チェルフィッチュ、チェン・ジエレン、
舟越桂、イトー・タマリ、姜尚中、川崎和男、木村太陽、
岸本清子、ラファエル・ロサノ=ヘメル、みかん電鉄、
森村泰昌、村田仁、奥田扇久、坂田靖子、島袋道浩、塩
田千春、サラ・ジー、詫間のり子、土橋とし子、
バトリック・トゥットフォコ、牛嶋均、山本基、山下洋輔

Zone2
粟津美穂、浜田剛爾、モナ・ハトゥム、一柳慧、
金沢不満合唱団、アニッシュ・カプーア、川上未映子、
アナ・メンディエータ、ステファン・ロイセ、鈴木昭男、
鈴木ヒラク、谷川俊太郎、照屋勇賢、東郷健、山折哲雄、
山崎つる子、横溝静、湯浅誠

関連企画：

- ◎鈴木ヒラク ライブペインティング・パフォーマンス《recording》
〈演奏：植野隆司 (Tenniscoats)〉(4月28日、展示室11)
- ◎一柳慧パフォーマンス《オープン・ダイアログ》
〈共演：島田英明〉(4月28日、展示室14)
- ◎オープニング記念アーティスト・トーク
ステファン・ロイセ、照屋勇賢、島袋道浩、木村太陽、舟越桂
(4月29日、レクチャーホール)
- ◎オープニング記念アーティスト・トーク
山崎つる子トーク(4月29日、展示室8)
- ◎オープニング記念パフォーマンス
鈴木ヒラク ライブペインティング・パフォーマンス《recording》
〈演奏：植野隆司 (Tenniscoats)〉(4月29日、展示室11)
- ◎オープニング記念パフォーマンス
一柳慧パフォーマンス《オープン・ダイアログ》
〈共演：村田仁+B-BANDJ〉(4月29日、展示室14)
- ◎奥田扇久+HOP(ひょうたんオーケストラプロジェクト)
KANAZAWA 21定植式(4月29日、光庭、キッズスタジオ)
- ◎谷川俊太郎+奥田扇久
詩の朗読とひょうたんサウンド・パフォーマンス
(5月2日、展示室11)
- ◎谷川俊太郎+山本基一
詩の朗読とアーティストトーク
(5月3日、長期インスタレーションルーム、レクチャーホール)
- ◎山折哲雄一講演「愛、この語り尽くせぬもの」
(5月4日、展示室11)
- ◎鈴木ヒラク+Shing02
パフォーマンスとライブペインティング(5月5日、展示室11)
- ◎B-BANDJ《ラップ・サウンズ・イン・プログレス》
(5月6日、5月21日、展示室11)
- ◎B-BANDJ《ラップ・サウンズ・イン・プログレス》
(5月22日、6月11日、6月12日、7月5日、展示室14)
- ◎川崎和男一講演「いのち・きもち・あい・かたち」
(5月23日、シアター 21)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～
島田英明(ヴァイオリン)+寒川晶子(ピアノ)
(6月6日、展示室14)
- ◎森村泰昌&中ザワヒデキ スペシャル対談
「美術についての100の物語」(6月7日、レクチャーホール)
- ◎粟津美穂講演「豊かな国の貧困を生きる子どもたちー
アメリカ児童保護ソーシャルワークの現場から」
(6月14日、レクチャーホール)
- コメンテーター山野良一
コーディネーター箱崎幸恵
- ◎鈴木昭男パフォーマンス《あいしゃ》
(6月20日、6月21日、展示室11、通路)
- ◎東郷健一講演「愛についての私の物語」
(6月28日、レクチャーホール)
- ◎川上未映子+坂本弘道+清水一登一
言葉とピアノとチェロのパフォーマンス(6月28日、展示室11)

- ◎浜田剛爾パフォーマンス《Looking Freedom 2》
(7月4日、Zone2エリア)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～新井弘順(聲明)
(7月4日、7月5日、展示室14)
- ◎鈴木ヒラク ライブペインティング(7月5日、展示室11)
- ◎Zone2+B-BANDJスペシャルパフォーマンス
(友の会主催イベント 夕暮れおしゃべりツアー、7月5日)
- ◎ラファエル・ロサノ=ヘメルトーク/パフォーマンス
(7月11日、7月12日、レクチャーホール、展示室4)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～粟津潔追悼～
一柳慧×山下洋輔 ピアノセッション《解放のラブソディ》
映像：粟津潔、鈴木ヒラク
(7月12日、展示室11、レクチャーホール)
- ◎塩田千春+岡田利規 記憶の部屋について
(7月14日～26日、展示室6)
- ◎塩田千春+岡田利規 ポストトーク(7月24日、展示室6)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～
中川賢一ピアノコンサート《愛ー自然と人間の往還》
オリヴィエ・メシアン《鳥のカタログ》全曲+
メシアン作曲の鳥にまつわるピアノ曲全曲
(7月18日、展示室14、展示室11)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～
中川賢一ピアノコンサート《愛ー自然と人間の往還》
ジョン・ケージ「ソナタとインターロード」全曲
(7月19日、展示室14、展示室11)
- ◎一柳慧《オープン・ダイアログ》～
寒川晶子パフォーマンス《ワルツを演奏すること》
(7月20日、展示室14)
- ◎アートモール・スクール・プロジェクト
《局地限定放送局 TAMA》(8月7日、8月8日、館内随所)
- ◎アートモール・スクール・プロジェクト
ひょうたんの日・ミニライブ
「ひょうたんに聴かせるひょうたんサウンド」
(8月8日、ひょうたん栽培中の光庭)
- ◎Zone1+奥田扇久&島袋道浩
スペシャルトーク&パフォーマンス
(友の会主催イベント 夕暮れおしゃべりツアー、8月9日、マ
イケル・リン壁面前)
- ◎イトータリー パフォーマンス「ひとつの応答」
(8月15日、Zone1 光庭)
- ◎アートモール・スクール・プロジェクト《不満合唱団》
特別上映会(8月22日、レクチャーホール)
- ◎アートモール・スクール・プロジェクト《金沢不満合唱団》
ライブパフォーマンス(8月23日、マイケル・リン壁面前)
- ◎湯浅誠一講演「つながりの中で生きるために」
(8月23日、レクチャーホール)
- ◎ラファエル・ロサノ=ヘメル パルス・ルーム+B-BANDJ
《ラップ・サウンズ・イン・プログレス》(8月29日、展示室4)
- ◎ラファエル・ロサノ=ヘメル パルス・ルーム+島田英明
ヴァイオリン&ライヴ・エレクトロニクス(8月30日、展示室4)

- ◎山本基《100の迷宮》海に還る
(8月30日、長期インスタレーションルーム)
- ◎アートモール・スクール・プロジェクト
みかん電鉄《みかん電鉄まるびい線開通》
(7月10日、7月11日、8月7日、8月8日、8月20日、8月21日、
8月26日、展示会エリア)
- ◎村田仁 徘徊する詩《愛の前》
(毎週土、日曜、ただし、5月16日、5月17日、6月13日、6月14日、
7月18日、7月19日を除く+8月4日～8月30日、展示会エリア)
- ◎絵本を読もう
(毎月第2、第4土曜日、ただし、7/11、8/8を除く、キッズスタジオ)
- 粟津潔追悼プログラム：
◎映画タイトル・デザイン上映
●粟津潔《ピアノノ炎上》
●勅使河原宏監督映画タイトルデザイン集：《ホゼー・トレス》
《落とし穴》《落とし穴》予告編《砂の女》《他人の顔》
《サマー・ソルジャー》(2009年6月10日～8月30日、レク
チャーホール、特別協力：財団法人草月会)

ボランティア：

- ◎「アートモール・スクール・プロジェクト」
登録参加者数：88人
活動内容：各プロジェクトの運営

ガイドブック：「愛についての100の物語」(176)p. 900円
ISBN 978-4-903205-22-9

キュレーション：

- チーフキュレーター=不動美里
キュレーター=黒澤浩美、平林恵、立松由美子、吉岡恵美子、
北出智恵子、村田大輔、高嶋雄一郎
教育普及：木村健、吉備久美子、鍛冶裕子
展示設営：児玉賢三
アーカイヴ：石黒礼子
展示会スタッフ：橋爪真紀
展示会アシスタント：佐々木奈津
広報：落合博見、岡田彩、沢井美里

未完の横尾忠則
—君のものは僕のもの、僕のものは僕のもの—

2009.8.1-2009.11.3 ※関連プログラムは4月開始
会場：展示室7-11、14、プロジェクト工房

観覧料：一般=1,000円/大学生・65歳以上=800円/
小中高生=400円
入場者数：83,760

主催：金沢21世紀美術館 [(財) 金沢芸術創造財団]
協力：株式会社 クサカベ、株式会社 美術出版社

出品作家：横尾忠則

関連企画：
◎横尾忠則公開制作「PCPPP」
(4月4日～8日、5月16日～20日、プロジェクト工房)
◎「横尾工房」(4月～9月12日、プロジェクト工房)
◎記念対談：酒井忠康×横尾忠則
(8月1日、レクチャーホール)
◎記念対談：細野晴臣×横尾忠則
(9月13日、レクチャーホール、プロジェクト工房)
◎記念対談：平野啓一郎×横尾忠則
(10月24日、レクチャーホール)
◎学芸員によるギャラリートーク
(8月21日、22日、9月18日、19日、10月17日)
◎夕暮れおしゃべりツアー (9月9日)

カタログ：
『未完の横尾忠則
—君のものは僕のもの、僕のものは僕のもの—』
美術出版社 2009年
21.4×15.2 cm、216p. 2,100円
ISBN 978-4-568-10380-9

キュレーション：平林恵
展示設営：児玉賢三
教育普及：木村健
展覧会アシスタント：齋藤雅宏
制作スタッフ：橋爪真紀
アーカイヴ：石黒礼子
広報：落合博晃

Olafur Eliasson: Your chance encounter
オラファー・エリアソン：あなたが出会うとき

2009.11.21-2010.3.22
会場：展示室6-12、14、光庭2、無料ゾーン

観覧料：一般=1,000円/大学生・65歳以上=800円/
小中高生=400円
入場者数：83,338

主催：金沢21世紀美術館 [(財) 金沢芸術創造財団]
後援：ドイツ連邦共和国大使館
協賛：株式会社北國銀行、
KAZUYO SEJIMA + RYUE NISHIZAWA / SANAA、
NTT西日本
協力：ZUMTOBEL、シャンパーニュレイナル、
金沢工業大学感動デザイン工学研究所、株式会社ザ・ロック

出品作家：オラファー・エリアソン

関連企画：
◎スペシャル・トーク Your chance encounter
オラファー・エリアソン×イヴ・ブラウ×妹島和世
(11月19日、シアター 21)
◎学芸員によるギャラリートーク
(1月9日、2月13日、3月13日)
◎絵本を読もう
(1月9日、1月23日、2月13日、2月27日、3月13日、
アートライブラリー、展示室)
◎子ども対象ワークショップ1「遠い・近いを感じよう」
(1月31日、キッズスタジオ、展示室)
◎子ども対象ワークショップ2「色・いろいろ感じよう」
(2月28日、キッズスタジオ、展示室)
◎大人対象ワークショップ「目の体操：色・いろいろ」
(2月12日、キッズスタジオ)

カタログ：Olafur Eliasson *Your chance encounter*
Lars Müller Publishers, 2010年
20×24 cm、(212)p. 5,800円
ISBN 978-3-03778-211-8

キュレーション：黒澤浩美
レジストレーション：立松由美子
展示設営：児玉賢三

コレクション展：
シフト—揺らぎの場

2009.9.12-2010.4.11
会場：展示室1-6、長期インスタレーションルーム、交流ゾーン

観覧料：一般=350円/大学生=280円/
高校生以下無料/65歳以上=280円
入場者数：94,171
主催：金沢21世紀美術館 [(財) 金沢芸術創造財団]

出品作家：
フランシス・アリス、ゴードン・マツタ=クラーク、村山留里子、
ピーター・ニューマン、須田悦弘、パトリック・トゥットフォコ、
アン・ウィルソン、オラファー・エリアソン*
*会期：2009年11月21日-2010年3月22日

関連企画：
◎須田悦弘によるアーティスト・トーク
(12月6日、レクチャーホール)
◎学芸員によるギャラリートーク
(9月26日、10月10日、11月7日、12月12日、2010年1月9日、
2月13日、3月13日、4月10日)
◎ワークショップ「わたしの《バイサークル》を作ろう!」
(2月20日、キッズスタジオ、展覧会会場)
◎絵本を読もう(10月10日、11月7日、2010年2月6日、
3月27日、授乳室前、展覧会会場)

キュレーション：吉岡恵美子、高嶋雄一郎
展示設営：児玉賢三
展覧会スタッフ：橋爪真紀

日比野克彦アートプロジェクト
「ホーム→アンド←アウェー」方式

2007.4-2008.3.20 ※作品展示は2007.9.29-2008.3.20
会場：美術館のまわり、プロジェクト工房、
長期インスタレーションルーム、展示室13

観覧料：2007年9月28日まで無料。
2007年9月29日より「コレクション展II」との共通観覧券：
一般=350円/大学生・65歳以上=280円/
小中高校生=無料

主催：金沢21世紀美術館〔(財)金沢芸術創造財団〕
助成：芸術文化振興基金、美術館連絡協議会、読売新聞社
協賛：株式会社アサヒフレックス、株式会社サカタのタネ、
株式会社ムラヤマ、レンゴー株式会社
協力：アサヒビール株式会社、
いしかわ地域若者サポートステーション、金沢美術工芸大学、
キャノンマーケティングジャパン株式会社、JR金沢駅、
ジョブカフェ石川、スキップデザイン、セーレン株式会社、
株式会社総合園芸、土谷ロープ、YUKI TAKASE

出品作家：日比野克彦

関連企画：

- ◎「明後日朝顔プロジェクト21」苗植え式
(2007年5月18日、美術館のまわり、プロジェクト工房)
- ◎オープンスタジオ「DOCKYARD⇄SEED」
(2007年8月11日-2008年3月20日の土日祝日、
プロジェクト工房)
- ◎アーティスト・トーク：
日比野克彦オープニング・トーク
(2007年9月29日、レクチャーホール)
- ◎『明後日新聞 金沢版』発行
(2007年9月29日以降毎週土曜日、長期インスタレーション
ルームに展示、ミュージアムショップにて販売)
- ◎「明後日朝顔プロジェクト21」収穫祭
(2007年11月10日、美術館のまわり、プロジェクト工房)
- ◎ヒビノカップ2007 in 金沢
(2007年11月11日、金沢美術工芸大学グラウンド、体育館)
- ◎アーティスト・トーク：
日比野克彦クロージング・トーク
(2008年3月20日、レクチャーホール) ゲスト：野田秀樹

ボランティア：
◎展覧会ボランティア
活動期間：2007年4月-3月20日
登録参加者数：31人
ボランティアコーディネーター：1人
活動内容：
「明後日新聞社 金沢支局」社員31人：
「明後日朝顔プロジェクト21」の運営
同特派員8名：『明後日新聞 金沢版』のための取材・執筆活動

ドキュメント：
『〈金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム〉
日比野克彦アートプロジェクト
「ホーム→アンド←アウェー」方式』
金沢21世紀美術館、2008年
20.0×29.8 cm 88p. 2,200円

キュレーション：平林恵
展示設置：児玉賢三
教育普及：木村健、吉備久美子
制作スタッフ：吉岡恵美子、橋爪真紀、齋藤雅宏
広報：江藤祐子

日比野克彦アートプロジェクト
「ホーム→アンド←アウェー」方式
meets NODA [But-a-I]

2008.4.12～2008.10.19
会場：プロジェクト工房、展示室13

観覧料：無料

主催：金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]

協賛：株式会社ムラヤマ、
ものづくり実行委員会、レンゴー株式会社
協力：金沢美術工芸大学、
キャンノンマーケティングジャパン株式会社、
スキップデザイン、セーレン株式会社、
多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科、
有限責任中間法人石川フットボールクラブ、
ユザワヤ商事株式会社

出品作家：日比野克彦、野田秀樹

関連企画：

- ◎ [But-a-I] ワークショップ
(2008年4月12日～10月19日、プロジェクト工房、展示室13)
- ◎ 『明後日新聞 金沢版』発行
(2008年4月～2009年3月、ミュージアムショップにて販売)
- ◎ [But-a-I] サマーキャンプ
講師：野田秀樹、日比野克彦
(2008年8月18日～9月22日、プロジェクト工房、展示室13)
- ◎ シネマ歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」上映
(2008年9月21日、22日、シアター 21)
- ◎ ヒビノカップ2008 in 金沢
(2008年、9月28日、金沢市民芸術村)
- ◎ 野田秀樹×日比野克彦アーティスト・トーク
(2008年10月19日、展示室13)
- ◎ 「楽日初日」公演
(2008年10月19日、展示室13、プロジェクト工房前)

ボランティア：

- ◎ 展覧会ボランティア

活動期間：2008年4月～2009年3月17日

登録参加者数：39人

ボランティアコーディネーター：1人

活動内容：

「Seeds Company」36名 [But-a-I] における制作、運営活動

「明後日新聞 金沢支局」特派員11名：

『明後日新聞 金沢版』のための取材・執筆活動

ドキュメント：

〈金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム〉

日比野克彦アートプロジェクト

「ホーム→アンド←アウェー」方式 meets NODA [But-a-I]』

金沢21世紀美術館、2009年

20.0×29.8 cm 56p. with DVD

ISBN 978-4-903205-19-9

キュレーション：平林恵

展示設営：児玉賢三

教育普及：木村健、吉備久美子

制作スタッフ：橋爪真紀、原田愛、南知子

広瀬光治と西山美なコの
“ニットカフェ・イン・マイルーム”

2009.4.29～2010.3.22

会場：展示室13

観覧料：2009年9月11日まで無料。

2009年9月12日よりコレクション展との共通観覧券

一般=350円/大学生・65歳以上=280円/

小中高生=無料

主催：金沢21世紀美術館[(財)金沢芸術創造財団]

共催：北國新聞社

助成：芸術文化振興基金、美術館連絡協議会、読売新聞社

協力：社団法人 日本編物文化協会

出品作家：広瀬光治、西山美なコ

関連企画：

- ◎ 広瀬光治×西山美なコ 公開制作オープン記念トーク
(4月29日)
- ◎ エブリデイ・ニット・プロジェクト(5月1日～3月22日)
- ◎ 小中学校対象 ゆび編みワークショップ
(5月15日、金沢市立弥生小学校手芸クラブ
6月19日、金沢市立小立野小学校4年
11月13日、金沢市立小立野小学校3年
12月18日、金沢市立浅野川小学校5年
1月15日、金沢市立馬場小学校1年&2年
2月19日、石川県立ろう学校中学部&高等部)
- ◎ 広瀬光治講演会
「かぎ針編みのお話～ニットカフェ・イン・マイルーム」
(5月16日)
- ◎ サタデー・ニット・ワークショップ
「かぎ針でモチーフを編もう！」
(5月23日、6月27日)
- ◎ メンバーフォローアップ研修(5月23日～2月19日、月1回)
- ◎ 広瀬光治講演会
「棒針編みと世界のレースのお話～
ニットカフェ・イン・マイルーム」(6月20日)
- ◎ サタデー・ニット・ワークショップ
「親子で編み物体験! エコたわしを編もう」(7月25日)
- ◎ 広瀬光治講演会
「親子でニット! ゆび編みマフラーを作ろう」(8月29日)
- ◎ 作品展示開始記念トーク
広瀬光治×西山美なコ コラボレーション・トーク(9月12日)
- ◎ サタデー・ニット・ワークショップ「8本ゆびで編むマフラー」
(9月26日)
- ◎ 対談：西山美なコ×村田大輔(本展担当学芸員)
(10月17日)
- ◎ サタデー・ニット・ワークショップ
「かぎ針編みのマフラーを編もう」(10月24日)

◎広瀬光治講演会
「展示作品の解説～各パーツのテクニック紹介～」(11月14日)
◎サタデー・ニット・ワークショップ
「ガーター編みで2WAYニットを編もう」(11月28日)
◎サタデー・ニット・ワークショップ
「2目ゴム編みで簡単手袋を編もう」(12月12日)
◎広瀬光治講演会「歌とニット～トーク&ミニコンサート」
(12月19日)
◎広瀬光治講演会「伝統のニットのお話」(1月16日)
◎サタデー・ニット・ワークショップ
「アイリッシュレースのモチーフを編もう」(1月23日)
◎広瀬光治講演会「ニットファッションショー」(2月20日)
◎「ニットカフェ・イン・マイルーム～ナイトタイム」
(2月23日～3月22日)
◎サタデー・ニット・ワークショップ
「ブリュゲルレースのストールを編もう」(2月27日)
◎「絵本を読もう」(3月6日)
◎サタデー・ニット・ワークショップ
「レース編みのかわいい小ものを編もう」(3月20日)
◎「西山美なコのトーク&トーク～
ニットカフェ・イン・マイルーム」(3月20日)
◎展覧会クロージングトーク
広瀬光治×西山美なコ コラボレーション・トーク(3月21日)

ボランティア：

◎展覧会ボランティア

活動期間：2007年4月～3月22日

登録参加者数：25人

ボランティアコーディネーター：1人

活動内容：エブリデイ・ニット・プロジェクトの運営、
展示空間制作、ほか

ドキュメント：

『広瀬光治と西山美なコのニットカフェ・イン・マイルーム』

金沢21世紀美術館、2010年

14.8×21cm 75p 1,200円

ISBN 978-4-903205-23-6

キュレーション：村田大輔

教育普及：吉備久美子

展示設営：児玉賢三

制作スタッフ：橋爪真紀、小林由美

広報：落合博晃

「LAST SUPPER ラストサパー」

2007.4.14～6.3

入場者数：18,910人

キュレーション：高橋律子

「うめめ：ここは石川県の部屋 梅佳代写真展」

2007.6.9～7.10

入場者数：25,098人

キュレーション：高橋律子

Girlish Culture 〈リカちゃん〉 少女のあこがれ史40年

2007.7.21～9.9

入場者数：62,856人

キュレーション：高橋律子

開館3周年記念：美術館・友の会共同事業

金沢の包み紙展

2007.8.12～10.16

入場者数：34,562人

キュレーション：高橋律子

Liminal Air-descent- 大巻伸嗣展

2007.11.3～2008.4.6

入場者数：91,953人

キュレーション：高橋律子

金沢をプリコラージュする。糸崎公朗写真展

2008.4.18～7.13

入場者数：89,393人

キュレーション：高橋律子

フードクリエイション：食欲のデザイン展

感覚であじわう感情のテイスト

2008.7.19～9.28

キュレーション：高橋律子

開館3周年記念：美術館・友の会共同事業第2弾

金沢アートプラットホーム2008

インフォメーション・キューブ

2008.10.4～12.7

キュレーション：高橋律子

不自由な夢：大森仔佑子とマエダサチコ

2008.12.13～2009.2.22

入場者数：34,797人

キュレーション：高橋律子

金沢 and 環境デザイン：まちづくりと共に歩むデザイン

2009.2.28～4.19

入場者数：27,283人

キュレーション：高橋律子、立松由美子

愛についての100の物語

川崎和男のPeace-Keeping Design

2009.4.29～8.30

入場者数：94,824人

キュレーション：不動美里、立松由美子

きりのなか—ブルーノ・ムナリーの絵本世界

2009.9.12～11.3

入場者数：26,144人

キュレーション：立松由美子

当房優子の色合わせの楽しみ

Fun with color patchwork by Yuko Tobo

2009.11.14～2010.1.11

入場者数：33,345人

キュレーション：立松由美子

ミナ ベルホネン

The future from the past 未来は過去から

2010.1.16～5.30

入場者数：106,579人

キュレーション：立松由美子、平林恵